

# コロナワクチン副反応の対応は



藤本 和美 議員

## 体調確認し救済制度揭示と支援



新型コロナウイルス

接種による健康被害救済制度の申請と、副反応疑い報告が全国的に増加している。厚生労働省の、医療機関からの接種による副反応疑い報告は、有害事象が全国で3万6556件内、死亡報告数212人、重篤報告数8784人。

**問** 接種による健康被害救済制度の申請件数と症状は。

**答** 健康保健担当参事 ▼6件。症状はアフライラキシー、頭痛、悪心、嘔吐、せき喘息、急性心筋炎、急性リンパ白血病、気管支喘息。

**問** 申請から認定までの期間は。

**答** 早い人で4カ月、遅い人で10カ月。

**問** 副反応のリスク喚起はしているか。

**答** 接種券と一緒にチラシを送付。接種は強制ではないこと、接種できない人、副反応の相談窓口、健康被害救済制度、副反応の症状を明記。接種会場の待ち時間にも手渡す。

**問** 申請に必要な診断書費用の支援は可能か。

**答** 発生状況で検討。

**問** ワクチン後遺症患者は、家族にも信じてもらえず、病院で心因性と言われることもあるとのこと。副反応で悩む人への対応は何かできるか。

**答** 個別に体調や受診状況を確認。救済制度申請方法の揭示や書類準備等を支援。体調等、必要に応じて家庭訪問を実施する。

**問** 接種券送付を「接種勧奨及び努力義務」の適用者に限定し、それ以外の人は、慎重に検討できる接種券申請制に変更できるか。

**答** 岡崎市、岡崎市医師会等と協議する。



申請から認定・支給までの流れ (出典：厚生労働省ホームページより)

**問** 申請に必要な接種済証を紛失しても再発行可能か。

**答** 同等レベルの内容を再発行可能。

**問** 副反応の症状や相談先を知らない人のために、全接種者に副反応に関するアンケートは実施可能か。

**答** 岡崎市医師会との協議や医療関係有識者の協力が必要。

### 中学校部活動の地域連携は

学校と地域が連携し成長見守る

**問** 部活動の活動時間縮小で、教員の勤務状況は改善されたか。

**答** 教育部長 ▼一斉退校日を設けたり、指導員のいる部活動の顧問は、週末が月に2日の参加になった。

**問** 指導員配置の課題はあるか。

**答** 各部活動、男女別に1人配置したい。顧問と連携し、職務を誠実に遂行できる人を採ることが一番の課題。

**問** スポーツ協会や教室との連携は。

**答** 以前協力を依頼したことはあり、必要に応じて相談する。

**問** 今後も学校が活動場所になるか。

**答** 地域への移行はすぐできず、学校での活動が適している。学校施設は団体登録で利用できる制度がある。

**問** 部活動地域連携によるスポーツの多世代振興はできるか。

**答** スポーツの普及、振興、施設の充実を図り、学校と地域との連携で子どもたちの成長を見守る。



たきよう つよし 議員  
田境 毅

## 令和6年度予算へ施策反映を

### 公共施設の導入可能性調査する



カーボンニュートラル実現に向け、エネルギー政策、水素社会、電動車など、県や国と連携し、行政の取り組みが期待される。

**問** 社会環境に合わせ最適な比率で導入することが望ましい。公用車を次世代自動車に更新する計画は。

**答** 環境経済部長▼第4次幸田町地球温暖化対策実行計画で、目標数値を設定予定。次世代自動車へは、年間2、3台程度で継続的に更新を考えている。

**問** シェア運用を促進し、公用車の運用効率向上を。

**答** 企画部長▼車両更新タイミングで、利用頻度等に基づき考えたい。

**問** 公共施設や観光拠点等重点に、充電

・充填インフラ整備の拡充を。

**答** 環境経済部長▼自治体の費用負担がない事業を提案する民間事業者を活用した、公共施設インフラ整備も検討したい。水素ステーションは民間事業者の協力を模索したい。

**問** 移動型バリアフリートイレは電源が必要。次世代自動車活

用の考えは。

**答** 消防長▼発電機を積載できる車両、大気汚染物質の排出の少ない次世代自動車を含め、検討している。

**問** 町民の行動実践につながった省エネ家電購入費補助拡充を。

**答** 環境経済部長▼第2回申請件数を注視し、町民に応える更なる方策も考えたい。

**問** 令和6年度予算へカーボンニュートラル実現に向けた具体的な施策の反映を。

**答** 令和6年度は、公共施設の導入可能性を調査する。費用対効果等、優先順位を明確にして進めたい。

#### 職員採用試験時期の最適化を

来年は7月の試験実施も検討

未来を担う子ども達が、良い環境で学ぶために必要な教育環境の整備・充実などを問う。

**問** 職員採用に毎年苦労している。採用試験時期の最適化を。

**答** 総務部長▼来年は7月の統一試験も活用し、これまでよりも早い時期に採用試験を検討したい。

**問** 部活動の地域移行を円滑に進める取り組みを。教育部局以外も関わり、生徒や保護者も安心できる環境の実現を。

**答** 教育長▼地域の協力で、多くの種目で部活動指導員をお願いでき、子ども達にも教員にも好評である。一方で、子ども達の活動の受け皿づくりの検討が必要であり、町民の協力をお願いしたい。

**問** 少ない職員でも運営しやすい施設機能の集約、高齢者が笑顔で元気に過ごす公共施設の環境整備を。

**答** 健康福祉部長▼大草広野地区福祉施策推進構想において、実現を目指したい。先進地事例も構想に加えて検討したい。



次世代自動車は、けん引や電源として活用可能